

普通階・無窓階算定書

防火対象物名称 ① _____

用 途 ② _____

算定者氏名 ③ _____

(④ 階)

床面積 (A)	⑤	m ²
基準開口面積 (B = A / 30)	⑥	m ²
有効な開口面積の合計 (C)	⑦	m ²
算定結果 ⑧	<input type="checkbox"/> 普通階 (B < C)	<input type="checkbox"/> 無窓階 (B ≥ C)
令8区画等による別棟 ⑨	<input type="checkbox"/> 該当有り	<input type="checkbox"/> 該当無し

開口部の位置	建具の番号	種別	厚さ (mm)	床からの高さ (m)	有効な開口部の面積 (m ²) 幅(m)×高さ(m)×数=	備考
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮ ○×○×○=○m ²	

備考

- 算定は階ごとに算定すること。
- 有効開口部全てを記入すること。
- 算定書の次に、配置図、建具キープラン及び建具表を添付し、有効算定した開口部を朱色で示してください。

(2枚目以降)

No. _____ / _____

(④ 階)

床面積 (A)	⑤	m ²
基準開口面積 (B = A / 30)	⑥	m ²
有効な開口面積の合計 (C)	⑦	m ²
算定結果 ⑧	<input type="checkbox"/> 普通階 (B < C)	<input type="checkbox"/> 無窓階 (B ≥ C)
令8区画等による別棟 ⑨	<input type="checkbox"/> 該当有り	<input type="checkbox"/> 該当無し

開口部の位置	建具の番号	種別	厚さ (mm)	床からの高さ (m)	有効な開口部の面積 (m ²) 幅(m)×高さ(m)×数=	備考
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮ 〇×〇×〇=〇m ²	

備考

- 1 算定は階ごとに算定すること。
- 2 有効開口部全てを記入すること。
- 2 算定書の次に、配置図、建具キープラン及び建具表を添付し、有効算定した開口部を朱色で示してください。

★記入要領

項目	記 入 要 領
①防火対象物名称	防火対象物の名称を記入してください。 例：株式会社〇〇〇 長岡支店
②用途	防火対象物の用途を記入してください。 例：集会場、共同住宅など具体的な名称でかまいません。
③算定者氏名	算定者の氏名を記名又は署名してください。
④階	階ごとの算定が必要です。 どの階についての算定かを記入してください。
⑤床面積	階の床面積を記入してください。
⑥基準開口面積	基準となる面積は、階の床面積の30分の1です。 小数点第3位以下を切り捨ててください。
⑦有効な開口面積 の合計	有効な開口部として算定可能な部分の面積の合計を記入してください。④における⑤の合計です。
⑧算定結果	算定の結果をチェックしてください。
⑨令8区画等による別棟	消防法施行令第8条及び平成7年3月31日付け消防予第53号「令8区画及び共住区画の構造並びに当該区画を貫通する配管等の取扱いについて（通知）」の基準を満たす場合、又は渡り廊下等で接続されているものの、昭和50年3月5日付け消防安第26号「消防用設備等の設置単位について」の基準を満たすことで別棟としている場合は、該当有りにチェックしてください。
⑩開口部の位置	開口部の方面（東西南北）を記入してください。
⑪建具の番号	直径1メートルの円が内接することのできるもの又は幅及び高さがそれぞれ75センチ以上×1.2メートル以上のものについては、その建具番号を○で囲んでください。

項目	記入要領
⑫種別	「FIX」、「引違い窓」、「たて軸回転窓」、「水圧開放装置付」又は「水圧解錠装置付」等の種別を記入してください。
⑬厚さ	ガラス等の厚さを記入してください。
⑭床からの高さ	床面から開口部下端までの高さを記入してください。
⑮有効な開口部の面積 (㎡)	面積だけでなく、幅、高さ、建具の数も記入してください。(FIXの場合は、ガラスの部分の寸法です。)
その他	配置図、建具キープラン及び建具表を添付し、算定書に記入した開口部を朱色で示してください。
<p>不明なところは、お近くの消防本部又は消防署にお問い合わせください。</p> <p>消防本部:長岡市千歳1-3-100 電話 0258(35)2190</p> <p>与板消防署:長岡市与板町本与板3731 電話 0258(72)2572</p> <p>栃尾消防署:長岡市栃尾大町2-11 電話 0258(52)1155</p>	